

みんなのぎかい

すもと市議会だより

2019.1.15 Vol.50



号

CONTENTS

12月定例会議会の概要・議案審査	(2)~(4)
討論	(4)
意見書・議決結果・議会日程	(5)
一般質問	(6)~(11)
議会報告会	(12)
行政視察報告	(12)~(13)
議員研修・11月臨時市議会の概要	(14)
新年あいさつ・3月定例会議会の予定・編集後記	(15)
50号記念 こんなことを聞きました	(16)



12月7日～19日にかけて行われた、定例市議会では補正予算19億1546万円など次の議案の審議が行われました。

請願については賛成少数で、不採択。

その他については全会一致で可決されました。

詳しくは5ページをご覧ください。

今回の議案などは

- 平成30年度補正予算 …………… 7件
- 条例の制定・改正 …………… 4件
- 意見書 …………… 1件
- 請願 …………… 1件
- 指定管理者の指定 …………… 1件

議案審査

平成30年度補正 予算などを審査

総務常任委員会

全ての議案を全会一致により可決するものと決しました。

Qふるさとともっともって応援基金の寄附金を一般財源にどのように充当しているのか。

A〔財務部〕ふるさと納税申請時の寄附者の意向を伺い、12月補正に関しては、本市が実施している27の事業にそれぞれ充当している。

Qふるさと産品発信事業とは。

A〔企画部〕洲本市の魅力が島外の方に発信するため「ロケイニング&食フェス」などのオータムフェスタ2018を開催。2

教育民生常任委員会

全ての議案を全会一致により可決するものと決しました。

Q介護・訓練などの給付費が増額となる要因は。

A〔健康部〕本年4月からサービスタなどの報酬改定があったこと、またサービスの利用者も増え、一人当たりの給付金額も増えたためである。

Q生活保護扶助費の増額の要因は。

A〔健康部〕医療扶助（入院



▲オータムフェスタの様子

全ての小学校・幼稚園に



▲洲本市のふるさと納税PRポスター

補正予算の主な内容

- ふるさと納税寄附金積立金 6億178万9千円
- ふるさと納税寄附金事務事業 (返礼品及び郵送料など) 3億3,700万円
- ふるさと産品発信事業 4,000万円
- 小学校改修費(エアコン設置) (小学校8校:洲一、加茂、由良、中川原、安乎、都志、広石、堺) 1億9,360万円
- 幼稚園改修費(エアコン設置) (市立幼稚園2園:洲本、大野) 1,057万円
- 学校施設補修費 1,120万円 (洲二小特別支援教室、洲浜中防球ネット、五色給食センター修繕)
- ため池等整備事業 1,131万1千円
- 平成30年発生農業土木災害復旧費 9,920万円
- 平成30年発生公共土木施設災害復旧費 1,450万円



▲エアコンが設置された教室

や通院)が増えたためである。

Q 地域包括支援センターの運営体制について、本年4月からのように変わったのか。

A (「健康」) これまでは、五色、安乎、中川原、潮地区については、「ごしき地域包括支援センター」として兵庫県社会福祉事業団に外部委託しており、洲本市直営の「洲本市地域包括支援センター」と別々の体制で運営されていた。本年4月より増える高齢者虐待の防止、高齢者の養護者などにおける情報共有を円滑にするため、市内全域を洲本市直営による一元管理とした。地域包括支援センターの目的は、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある自立した生活を送っていただくための取り組みである。

Q 諸証明書をコンビニで交付できる店舗数は。

A (「市民」) 島内のコンビニ、スーパーなどマルチコピー機を設置している61店舗で交付を受けられる。

Q 漂着ごみの処理はどの海岸を実施したのか。

A (「市民」) 都志港海岸、洲本港海岸(内田、安乎、中川原)、大浜海水浴場、由良港海岸(生石)を実施。12月以降は成ヶ島、五色海岸を予定している。

Q 普通教室へのエアコン設置はいつ完了するのか。

A (「教育」) 未設置は現在のところ小学校8校、幼稚園2園となっている。全

国的にエアコンの発注が集中しているが、平成31年の春休みも工事期間として活用しながら準備を進める。

産業建設常任委員会

全ての議案を全会一致により可決するものと決しました。

Q 台風24号による農地などの災害件数は。

A〔産業部〕農地22件、農業施設16件、合計38件を計上。

Q 三熊山樹木伐採面積はどれくらい増えるのか。また、来年度も引き続き伐採を行うのか。



▲庁舎から望む洲本城跡

A〔産業部〕8000㎡から200㎡が増え、合計1000㎡になり景観がよくなるものと考え。来年度も含め、数年間予定している。

Q 三熊山のトイレ棟解体は、何力所あるのか。

A〔産業部〕老朽化した2カ所のトイレ棟を解体する。

Q 下水道事業の採算を考えたとき、下水道使用料の値上げは考えないのか。

A〔整備部〕今のところ考えていない。

Q 下水道への早期接続を促進するためのPRは。

A〔整備部〕公共下水道への早期接続に助成金を交付していることを広報している。

Q 上桑間地区の下水道整備は。

A〔整備部〕都市計画道路路下内膳線の道路整備に合わせ、下水道の整備も進めたいと考えている。

請願第2号

旧優生保護法により強制不妊治療を受けた当事者に対する補償等を求める請願書

教育民生 常任委員会での 請願審査

9月定例市議会における審査では、直接関連のない基盤整備などの項目があるとの意見が多数あり、その項目を削除し再度12月定例市議会での請願審査となった。

審査においては、人権、さらには命と正面から向き合う難しい判断を求められたが、この度においても賛成少数で不採択すべきものとなった。

討論

反対

木下義寿（宙）

賛成

間森和生（日本共産党）

国の動きとしては、各党からの「強制不妊救済法案」を一本化し、来年4月には超党派から法案を提出され、早期成立の見込みとされている。ただ、広く行われている出生前診断を例に、自らの意に沿わない診断結果が示された場合を想像すると、実際に被害に遭われた方の生の声を聞いた時の衝撃や寄り添っていかなければならないと感じた思いに嘘はなかったとしても、自身の優生思想を完全に否定できないまま本請願に賛同することには矛盾を感じるため賛同できない。

強制不妊手術を受けた当事者への救済の動きは、急速に広がり、来年4月頃に超党派で「強制不妊救済法案」を、国会に提出する見通しとされている。

当事者の救済に向けた動きが、急ピッチで進んでいることは、何よりもこの問題の早期解決を望む声が、国民の中に大きく広がり、国会を動かしていると言える。

強制不妊手術の実態調査と、当事者への謝罪や補償などを行うための立法措置が早期に実現することを求める。

意見書

地方自治法第99条の規定に基づき、次の意見書を関係機関へ提出します。

防災・減災に資するインフラ整備促進のための 財源確保等具体的な対策を求める意見書

- 発生確率が高まる南海トラフ地震や日本海側の津波に備えた「事前防災」の観点から、対策に必要な予算措置を講ずること。
- 平成30年7月豪雨、台風第21号など、激甚化・多発化する災害を踏まえ、防災事業を計画的に実施していくため、治水対策、高潮対策、土砂災害対策、道路防災対策等に必要な予算措置を講ずること。
- 災害時の機能保全、安全確保の観点からも、社会基盤施設の老朽化対策や適正な維持管理に必要な予算措置を講ずること。
- 「国難」をもたらす巨大災害に備え、発災後の救援支援活動への支障や社会経済活動の機能不全などを回避するために必要となる交通・運輸基盤の整備を促進すること。

議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

※議長（福本 巧）は表決には加わらない。
しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。
○は賛成、×は反対、欠は欠席。

件名	議員名	議決結果	近藤 昭文	間森 和生	中野 睦子	小野 章二	高島久美子	清水 茂	氏田 年行	小松 茂	片岡 格	狩野 揮史	先田 正一	笹田 守	木戸隆一郎	上田 昌孝	地村耕一良	木下 義寿	柳川 真一
請願第2号	旧優生保護法により強制不妊手術を受けた当事者に対する補償等を求める請願書	不採択	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○

全員賛成の議案等

提出者	件名	議決結果	提出者	件名	議決結果
市長提出	議案第73号 一般会計補正予算（第6号）	原案可決	市長提出	議案第82号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定	原案可決
市長提出	議案第74号 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	市長提出	議案第83号 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第75号 堺財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長提出	議案第84号 公の施設に係る指定管理者の指定（市民交流センター）	原案可決
市長提出	議案第76号 CATV事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	意見書案第1号	防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書	原案可決
市長提出	議案第77号 介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決			
市長提出	議案第78号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決			
市長提出	議案第79号 下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決			
市長提出	議案第80号 職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決			
市長提出	議案第81号 重度心身障害者(児)介護手当支給条例の一部改正	原案可決			

※表記は、正式な名称ではありません。

議会日程

平成30年	12月13日 産業建設常任委員会
11月30日 告示 常任委員長会	12月14日 教育民生常任委員会
12月4日 議会運営委員会	12月17日 総務常任委員会
議会報編集特別委員会	12月18日 議会運営委員会
12月7日 本会議第1日 （提案説明）	12月19日 本会議第4日 （採決）
12月11日 本会議第2日 （一般質問5議員）	平成31年
議会運営委員会	1月4日 議会報編集特別委員会
12月12日 本会議第3日 （一般質問6議員）	

スバリ!!! ここが聞きたい

木戸 隆一郎 P.6

- 都市計画マスタープランについて
- 窓口における提出書類、手続の簡素化、電子申請について
- 幼保小中学校と地域との連携について

清水 茂 P.7

- 災害時避難所の整備について
- 観光振興・観光施策について

氏田 年行 P.7

- 学校給食費の公会計化について
- 企業誘致について
- 防災対策について

中野 睦子 P.8

- スマホアプリを活用した市民サービスについて
- みんなが集まるまちづくりについて
- 淡路はひとつ!について

間 森 和 生 P.8

- 放課後支援事業の拡充について
- いじめ・不登校の対応について

近 藤 昭 文 P.9

- 保健・医療・福祉環境の充実について
- 道路事業の計画・進捗について
- 松くい虫防除について

高 島 久 美 子 P.9

- 風疹について
- プラスチックごみについて
- 障害者雇用について

片 岡 格 P.10

- 観光振興策について
- 危険ブロック塀等安全対策について

先 田 正 一 P.10

- がん対策などについて
- 公共施設や学校などの課題について
- ケーブルテレビジョンについて

笹 田 守 P.11

- 洲本市の農業振興について
- 放課後支援事業について

狩 野 揮 史 P.11

- 2040構想が提起する人口減少社会の対応について
- 地球温暖化防止と省エネ推進について

※ここに表示した質問項目は、定例市議会ですべての質問を全て記載してあります。ただし、各記事に全ての質問・答弁が掲載されているとは限りません。
定例市議会の会議録は市の図書館でご覧いただくか、市ホームページ内の市議会会議録検索をご覧ください。
なお、掲載時期については、定例市議会終了からおおよそ2カ月後の予定で議会事務局ホームページにてお知らせいたします。

(市民生活部長)

A 法的には可能だが、費用対効果などの検証が必要。まずはコンビニ交付サービスの普及を図りたい。

Q 来庁者に聞き取りし、必要事項を印字した申請書を窓口で出力し、署名をもって、申請することは可能か。

窓口における手続きの簡素化



木戸 隆一郎 (市長)

窓口での手続きの簡素化と土曜開庁を

A 費用対効果や必要性、

Q 電子申請の拡大は、情報収集や情報交換をしながら、

A 独自利用事務について庁内の各部署と連携しながら、幅広い事務分野で適用できるように努めていく。

Q 平日の業務時間延長での対応も含め検討していきたい。(総務部長)

A マイナンバーを利用した申請には添付書類の簡素化が進んでいるが、本市独自の制度に関する申請時にも拡大しては。

Q 今後、より地域と連携し運営していくために、コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の導入は考えられるか。

A 一定の権限と責任を持って学校運営に参画する制度で、選択肢の一つ。地域や学校の実情を踏まえ、必要性を十分に吟味しながら検討していきたい。(教育次長)

Q 年度末、始めや一時期に集中する保育の申請時などは土曜も開庁できないか。

A 平日の業務時間延長での対応も含め検討していきたい。(総務部長)

幼保小中学校と地域の連携

動向を見極め、導入の可否を今後検討していきたい。(企画情報部長)

その他、都市計画マスタープランについても質問しました。



避難所の整備と
観光推進体制の充実を

清水茂(宙)

避難所の整備

Q 非常用物資の備蓄量は何日分を確保しているのか。

A 1万人分の非常食、飲料水を1日分確保している。

(総務部長)

Q 非常用食料の備蓄について、直接備蓄を補完するため、流通在庫備蓄についての供給協定は行われているのか。

A 市内にある大手スーパーなどと協定している。(総務部長)

Q 避難所である小中学校のトイレ水洗化と洋式化の整備状況は。

A 小中学校施設のトイレについては、一部の屋外プールトイ

しを除き、全て水洗化している。また、洋式化率については31.8%となっている。

(教育次長)

観光振興・観光施策

Q 本市観光振興の近年の取り組みと成果は。

A 昨年、開催したドラゴンクエスト・ミュージアムの開催などで、洲本市の知名度の向上に繋げる「など5つの成果があった。

(産業振興部長)

Q 本市観光振興の主要施策の取り組み状況は。

A これまでの取り組みを継続実施すること、日本遺産の活用や、東京でのアンテナショップ



▲淡路島観光キャラバン

プの新展開など「洲本らしさ」を出していきたい。

(産業振興部長)

Q 淡路島総合観光戦略における淡路島の観光推進体制について、各実施主体の役割と、相互連携のありかたは。

A 県と3市が、観光協会への人的・財政的などの支援を行いながら、事業実施時の応援も行っている。

(産業振興部長)



学校給食の公会計化の導入を

氏田年行(宙)

学校給食の公会計

Q 学校給食費の徴収における公会計化の導入は。

A 2020年度以降からの実施に向け、今年度から具体的な方策の検討に入る。

(教育長)

Q 学校給食費の未納や未収の対策として、児童手当からの学校給食費の徴収については。

A 公会計化を実施できた場合、学校給食費の未納者に対し



▲学校給食の一例

て了承を得た上で児童手当から徴収することも考えている。(教育長)

企業誘致

Q 洲本市女性・若者起業支援事業補助制度の年齢制限などの要件緩和や助成金などの見直しは。

A 平成28年2月から補助制度を実施しているが、県の起業支援制度を補完するような意味も含まれている。

今後、社会情勢などの変化により制度の要件などを変更する必要が生じた場合など、柔軟な対応を考える。

(産業振興部長)

災害発生時の情報発信

Q 高齢者や聴覚障がい者への情報伝

達手段は。

A 災害時に聴覚障がい者の方には災害情報FAXや屋内信号装置の活用や手話と字幕が表示できる目で聴くテレビを利用し、

視覚障がい者の方には携帯メールの読み上げ機能により音声変換されて情報取得が行われている。

(総務部長)

Q 通電火災を防ぐための感震ブレーカーの購入設置に対する助成については。

A 平成29年度から事業を開始し、29年度は13件、30年度は11月末で10件の実績であったが、今後もPRを積極的にを行い、設置件数を増やしていきたい。

(都市整備部長)



より便利な住民サービスを！

中野睦子（志）

スマホアプリの活用

母子手帳を補完する「子育て応援アプリ」の導入は。保護者への情報提供のツールとして、今後試行的に電子母子健康手帳アプリを導入し、サービス向上に努めていきたい。

（健康福祉部参事）

みんなが集まるまちづくり

旧アルファピアミュージアムを含めた市民広場の今後は。市民広場は各種イベント会場として活用され、市民憩いの場となっている。今後、旧アルファピアの恒久的な活用方法を見出し、さらに市民広場

（健康福祉部参事）

に人が集い、にぎやかな場所となるよう努めたい。（企画情報部長）

名所のブラッシュアップ

旧益習館庭園が、この度国指定の名勝に。今後の展望は。今年11月、国の文化審議会において国指定名勝の答申されたことにより、島内唯一の国指定名勝庭園が誕生する。今後、保存活用計画を策定し、さらなる整備に努め、名所としての仕掛けづくりに努める。

（教育次長）

淡路はひとつ！

1市に対する市長の思いは。



▲島内唯一の国指定名勝庭園・旧益習館庭園

まずは広域的な共通課題の解決を進めていくことが大切。これを確かなものにしていけば、おのずと島内において機運が盛り上がってくる。合併による恩典が見込みにくい時期の無理な合併は、返って財政状況の悪化を招く恐れもあり、タイムリングを見極めることも大切である。（市長）

放課後支援事業

鮎原児童クラブは都志地区とで定員50名、児童クラブ広石は鳥飼・堺で40名となっている。校区外から児童クラブへの移動の問題で、学校側との配慮はできているか。連携しあいながら対応する体制ができています。

（健康福祉部長）

夏休みの自由水泳に参加できるよう引き続き検討を。

保護者のご支援とご協力をお願いしたい。

（健康福祉部長）

加茂や第三幼稚園を閉園後に児童クラブに



▲児童クラブ設置が期待される幼稚園舎

してほしいとの声があるが。

要望に答えられるようこれからも努めていきたい。

（健康福祉部長）

今後地域の教育力も取り入れた教室へと内容を高めていきたい。（教育長）

児童クラブと子ども教室の一体的運営を

間森和生（日本共産党）

いじめ・不登校対策

本市のいじめの認知件数は、重大事態は。平成30年10月末で、小学校180件、中学校43件である。重大事態はここ数年把握していない。また、年3回いじめ問題対策推進チームを開催し、いじめ防止などの実効的な対策を協議している。

（教育長）

今年度、県教育委員会にLINEで相談できるシステムが構築されている。（教育長）

（教育長）



高すぎると批判の国民健康保険税、
市民の負担軽減へ努力を

近藤 昭文 (日本共産党)

保健・医療・福祉環境

Q 本市は高校生まで入院費は無料になっており、努力に敬意を表したい。通院費を無料化しない理由は。

A 財政的にも限りがあり、成長・発達著しい中学3年生までの子どもへ重点的に事業を実施している。

Q 国が「自立支援を促す」の名目で導入した「インセンティブ制度」を、本市はどう受け止め対応するのか。

A 市の取り組みを評価する指標と点数が示されているが、地域課題への問題意識を高め、介護予防、認知症予防事業など効果的な取り組みを推進する。

Q 全国知事会は、「高い国保税を「協会けんぽ」並みに引き下げるよう2014年に国へ1兆円の公費負担増を要望している。本市も国保税軽減への努力を。

Q 安乎の直田線、五色の美の越線は工事中、来年度も工事継続実施予定。宇原千草線の用地取得完了区間は来年度末の供用開始を目指す。また、残区間の千草工区や他の主な路線も用地取得や詳細設計を実施し、事業を進めていく。

A 近畿、全国市長会などを通じて、国保改革に伴い実施された公費による約3400億円の財政支援拡充の継続実施、財政支援のさらなる強化を要望している。保険税負担緩和を目的とする法定外繰り入れは、国の指導もあり、本市では実施していない。(市民生活部長)

Q 近畿、全国市長会などを通じて、国保改革に伴い実施された公費による約3400億円の財政支援拡充の継続実施、財政支援のさらなる強化を要望している。保険税負担緩和を目的とする法定外繰り入れは、国の指導もあり、本市では実施していない。(市民生活部長)

Q 近畿、全国市長会などを通じて、国保改革に伴い実施された公費による約3400億円の財政支援拡充の継続実施、財政支援のさらなる強化を要望している。保険税負担緩和を目的とする法定外繰り入れは、国の指導もあり、本市では実施していない。(市民生活部長)

Q 近畿、全国市長会などを通じて、国保改革に伴い実施された公費による約3400億円の財政支援拡充の継続実施、財政支援のさらなる強化を要望している。保険税負担緩和を目的とする法定外繰り入れは、国の指導もあり、本市では実施していない。(市民生活部長)

Q 近畿、全国市長会などを通じて、国保改革に伴い実施された公費による約3400億円の財政支援拡充の継続実施、財政支援のさらなる強化を要望している。保険税負担緩和を目的とする法定外繰り入れは、国の指導もあり、本市では実施していない。(市民生活部長)



▲道路改良工事中の直田線 (安乎)



自然も人も大切に
政策を望む

高島 久美子 (宙)

風疹

Q 洲本市の風疹の罹患、妊娠初期抗体価検査、予防接種の状況は。

A 淡路圏域では、本年度は12月2日までで2件である。また、妊娠初期抗体価検査は妊婦健診時に必ず行う。麻疹風疹混合ワクチンの接種率、第一期は平成28年度97%、29年度78・6%。第二期は平成28年度96%、29年度95%。(健康福祉部参事)

プラスチックごみ

Q プラスチックごみの処分状況は。

A ペットボトル、プラスチックトレーはリサイクル業者に。その他は可燃ごみや大型ごみとして回収し、焼却または破砕後、埋め立て処分される。

Q 小中学生への環境教育は。

A 生活科、社会、理科、技術家庭、保健などで学習。その他ごみ処理場の見学や、各海水浴場においての清掃活動など。(教育次長)

Q 障がい者雇用の雇用数増し

A 障がい者雇用数増し

Q 障がい者雇用の雇用数増し

Q 障がい者雇用の雇用数増し

問題で、本市はどうか。

A 30年4月1日現在、市長部局と教育委員会を合わせ278%で、法定雇用率25%をクリアしている。(総務部長)

Q 企業の障がい者の雇用状況は。

A 淡路島全体で10月末現在、身体障がい者229人、知的障がい者164人、精神その他82人である。(産業振興部長)

Q 障がい者のジョブトレーニングは。

A 本市庁舎で、あわじ特別支援学校高等部2年生が1名、清掃作業や事務補助などの就労体験をした。(健康福祉部参事)

Q 障がい者雇用の雇用数増し

A 障がい者雇用の雇用数増し

Q 障がい者雇用の雇用数増し

Q 障がい者雇用の雇用数増し



▲成ヶ島クリーン作戦の様子



観光振興、洲本の文化・歴史、自然を活かし誘客促進を

片岡 格 (日本共産党)

観光振興策

Q 平成28年統計書によると、島内への観光入込客数は127万7千人、うち洲本市へは11万7400人、率にして9.1%に過ぎない。この違いの要因は。

A 隣接市には日帰り旅行、家族旅行で1日過ごせるような施設や駐車場がある便利な施設が多い。また、サービスエリア・道の駅など休憩だけでも立ち寄れる施設が多い。(産業振興部長)

洲本市の重要な観光産業の振興策は。御食国の食、温泉の宿泊、城下町のまち歩きといった洲本の強みを生かした、両市にない洲本らしさのある事業の創出と情報発信で、誘客につながるものと考える。(産業振興部長)



▲続100名城に選ばれた洲本城跡

文化財、誘客施設などの有効活用について。可能な限り、文化財を観光振興に役立たせるために工夫して、本市の魅力の情報を発信していく。(教育次長)

危険ブロック塀などの安全対策 大阪北部地震後の、市内における教育施設などのブロック塀対策は。年度内には全て完了する予定である。(教育次長)

危険ブロック塀などの安全対策

危険箇所への対策は。通学路変更など、対応済みと報告を受けている。(教育次長)

がん対策 五大がんの現状は。本市では、男性は肺がん、女性は大腸、肺がんの死亡者数が1番多く、集団検診の一部無料などで、早期治療につなげるよう努めている。(健康福祉部参事)

がん対策

公共施設や学校の課題 第一、第三、加茂幼稚園の閉園後における施設活用は。地域の施設活用に対する思いは十分認識している。地域の皆さまや小学校とも連携し、施設の存廃も含め検討を進める。(教育長)

ケーブルテレビの対応は。12月1日からのNHK及び民放4社のBS4K放送の開始と合わせ視聴できるよう対応済み。BS8K放送は来年度中の整備を予定。さらなる加入者獲得に努める。(企画情報部長)

未設置の小学校のエアコン設置は。8校と市立洲本・大野幼稚園2園の早期整備に向けて、補正予算を上程。可能な限り早期の設置に向け努力する。(教育長)

ケーブルテレビの対応は。12月1日からのNHK及び民放4社のBS4K放送の開始と合わせ視聴できるよう対応済み。BS8K放送は来年度中の整備を予定。さらなる加入者獲得に努める。(企画情報部長)



▲閉園する洲本市立第三幼稚園

がん検診のネット予約や無償化などを要望

先田 正一 (公明党)

公共施設や学校の課題

未設置の小学校のエアコン設置は。8校と市立洲本・大野幼稚園2園の早期整備に向けて、補正予算を上程。可能な限り早期の設置に向け努力する。(教育長)

ケーブルテレビの対応は。12月1日からのNHK及び民放4社のBS4K放送の開始と合わせ視聴できるよう対応済み。BS8K放送は来年度中の整備を予定。さらなる加入者獲得に努める。(企画情報部長)

未設置の小学校のエアコン設置は。8校と市立洲本・大野幼稚園2園の早期整備に向けて、補正予算を上程。可能な限り早期の設置に向け努力する。(教育長)



▲閉園する洲本市立第三幼稚園



洲本市の農業振興策は
放課後支援事業は

笹田守(志)

洲本市の農業振興策

Q 農業を取り巻く環境は高齢化、後継者不足、耕作放棄地の拡大、多発する台風などによる農業災害の発生、鹿や猪による鳥獣被害など深刻な課題である。今後のほ場整備や農道整備は。

A 環境は高齢化、後継者不足、耕作放棄地の拡大、多発する台風などによる農業災害の発生、鹿や猪による鳥獣被害など深刻な課題である。今後のほ場整備や農道整備は。

Q 農業を取り巻く環境は高齢化、後継者不足、耕作放棄地の拡大、多発する台風などによる農業災害の発生、鹿や猪による鳥獣被害など深刻な課題である。今後のほ場整備や農道整備は。



▲塔下ほ場整備地区 炬口トンネル残土処分地場所

Q 放課後児童クラブの整備は。また、炬口トンネル残土を塔下地区の整備に活用する。

A 放課後児童クラブの整備は。また、炬口トンネル残土を塔下地区の整備に活用する。

Q 放課後児童クラブの整備は。また、炬口トンネル残土を塔下地区の整備に活用する。

A 放課後児童クラブの整備は。また、炬口トンネル残土を塔下地区の整備に活用する。



▲地産地消が望まれるクリーンエネルギー

Q グリーン購入法において本市の取り組み状況は。

A 物品などを購入する際の基準は、洲本市地球温暖化対策実行計画の中で具体的な取り組みとして、エコマークやグリーンマークなど環境フレブルのついた商品「環境に優しい商品」を購入している。

参加者から出された質問(骨子)



県道洲本鳥飼浦線(花立線)の未整備区間の状況は?

豪雨で水が旧国道まであふれる。上桑間地域の排水はどうなっているの?

閉園後の加茂幼稚園は、学童保育に使ってほしい。

市道下内膳線の今後の整備計画を聞きたい。

奥畑地区の水道の問題を解決してほしい。

先山の下の方防ダムがいっぱいになっている。土砂撤去はできますか。

皆さんから出されたご意見を、市議会としてもしっかり受け止め、行政に改善を求めていきたい。



11月2日、加茂連合町内会と共催で第17回議会報告会を開催しました。加茂地域で開催するのは2回目となり、市民77名の参加がありました。

報告会では、9月定例会の議案や審査の内容について、それぞれ所属委員会の議員から報告しました。質疑では、加茂地域の具体的な課題について多く出されま



▲77名の参加で開催された議会報告会(上桑間公会堂)

行政視察報告

総務常任委員会

ふるさと納税について

・鹿児島県志布志市

11月13日、平成29年度ふるさと納税寄附額が全国で12位、鹿児島県内では1位の志布志市へ調査を行いました。

平成26年に返礼品を強化し、27年度約7.5億円、28年度22.5億円、平成30年度30.4億円と急激に伸びています。返礼品としては、肉(牛・豚)が45.7%、うなぎが35.9%で、この2項目が大部分を占めています。

寄附金の使途の具体例としては、小中学校にタブレット端末の導入や、プレミアム商品券の発行、サッカー場の芝生整備や

企業誘致のための土地造成などとなっています。急激に寄附金が伸びた

背景には、メディアミックス事業や寄附者との継続的なつながりの強化、物流振興総合プラットフォームの活用、首都圏に活動の拠点を設置するなどがあり、昨年度兵庫県下1位である本市でも、さらなる取り組みの強化と工夫の必要性があると感じました。



▲志布志市 ふるさと納税HPより

教育民生常任委員会

健康な人生が 最高のよろこび

- ・静岡県袋井市
- ・愛知県豊橋市

11月7日、日本一健康な文化都市宣言を条例で定めている袋井市へ行政視察を行いました。

袋井市では、健康への取り組みとして、スマホで簡単に健康管理ができる「ふくろいウォーク」を実施。2961歩（ふくろい・の語呂合わせ）ごとに、商品やクーポンと交換できるポイント付きの



▲#2961ウォークHPより

仕組みになっていました。

11月8日、教職員の働き方改革の先進地として豊橋市では中学校のクラブの外部指導員について調査を行いました。クラブの外部指導員は、専門性はもちろんのこと、顧問の教諭の負担を減らす効果も大きく、クラブ活動の成果だけでなく生徒のやる気やクラブ以外のことも頑張る意欲につながっているそうです。

産業建設常任委員会

観光振興・観光施策について

- ・富山県富山市
- ・富山県高岡市

11月5日、富山市の観光戦略プランでは、新幹線開業効果を持続させるとともに、多くの外国人旅行者の訪日が見込まれ

る2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え作成されています。観光のみならず、経済、社会、文化などの面において、「選ばれたまち」を目指し、戦略的な観光振興に官民一体となって取り組んでいます。

11月6日、高岡市は観光の基本方針を「魅力あふれる観光地づくりと広域観光拠点の確立をめざして」と設定しています。近隣市町村と連携し、広域的な観光を展開することによって、近隣との共存共栄が図られるだけでなく、新幹線新高岡駅の利用拡大や、「飛越能（飛



▲高岡市を走るドラえもんトラム

驛・越中・能登）の玄関口」としての拠点性向上にもつなげています。

議会報編集特別委員会

読みやすい 議会報をめざして

- ・10月16日
- 和歌山県紀の川市

紀の川市では市民の方

に親しみを持って読んでいただくために「こんにちは 議会です」というタイトルを平成30年度から未来へつなげるという議員全員の想いを込めて「未来へ」とタイトルを変更しました。写真や原稿編集など作業については各委員が行い、読みやすくするために全体の文字数を減らし、行間も広く取ることと紙面全体の読みやすさを重要視していました。

編集作業で特に心がけ

ていることは、難しい議会用語は使用せずに学生が読んでもわかる内容にすること、広報紙に議員が何を載せたいのかではなく、市民の方が何を知りたいことなのかを重点におくこと、一般質問では議員が何を聞いたのではなく、何を聞き出したのかを重要視することにかがけていました。

一般質問では質問項目はできるだけ文字数を少なくして答弁された内容を多く掲載しています。常任委員会報告では市民の方が何を知りたいのかを検討して、記事掲載を実施しています。



▲紀の川市の議会だより

議員研修

最近の農業をめぐる情勢

◆10月24日

農林水産省より洲本市産業振興部次長に就任された、鳥海修平次長より

1. 最近の農業をめぐる情勢
 2. 農水省での業務内容
 3. 洲本市の農政の概要
- などについて講演いただきました。

スマート農業



ロボット技術を活用した農業機械の自動化

出典：農林水産省資料

主な内容として、農政の歩みや基本姿勢、農協改革、収入保険制度の導入、たまねぎの原産地とその来歴、洲本市の農業算出額、認定農業者、集落営農や人・農地プラン、耕作面積の推移や放棄地の傾向、肉用牛、乳用牛の現状などについて伺いました。

淡路島地域における水道事業

◆11月22日

淡路広域水道企業団より、講演いただきました。

内容は淡路島内での給水人口が過去10年間で1万4千人が減少している事を踏まえて本土導水の取水量や供給量などの現状、兵庫県下で2番目に高い水道料金体系と高料金対策補助金、施設の統廃合などの将来的な課題の説明を受けました。

今後給水人口が減少傾向にあり、水道料金収入も減少することで現行の料金体系の維持などを求める意見が出ました。

11月臨時市議会

淡路関空航路の就航支援 補助金返還の和解案など可決

11月16日、臨時市議会が開催されました。

臨時市議会には、損害賠償に係る専決処分承認・報告4件と、(株)淡路関空ラインに洲本市が交付した補助金の返還に関する和解議案が提出され審議されました。

和解内容を要約すると以下のとおりです。

- ① 本市が交付した補助金1500万円のうち、1年間の運航実績分を差し引いた1125万円を返還する。
 - ② 返還が期限までに履行されるときは、本市は相手方に補助金返還にかかる残りの債務を免除する。
- 議案は総務常任委員会に付託され、慎重審査ののち、本会議において全会一致で可決されました。
- 議決後11月19日に、洲本市及び淡路広域行政事務組

合への返還分3375万円も同日返還が完了しました。

質疑応答

Q「補助金返還は言語道断」とまで言われ、謝罪もない。信頼関係がなくなっているのでは。

A「(情報部)調整を進める中で発せられた言葉であり、本市としては、常に冷静に和解協議を進めた。」

Q「減額は妥当なのか。」

A「(情報部)1年間運航した実績があり、その部分に関しては、減額対象として認める必要があると考えている。」

Q「1年の運航で多額の赤字と聞いているが、相手方に支払い能力はあるのか。」

A「(情報部)相手方は、自主的に返還するとしており、本市としては、信頼できると受け止めている。」

全員賛成の議案等

提出者	件名	議決結果
市長提出	報告第16号 損害賠償額の決定及び和解	承認
市長提出	議案第72号 淡路関空航路就航支援事業補助金の返還に関する和解	原案可決

※表記は、正式な名称ではありません。

新年あいさつ

議長 福本 巧



副議長 柳川 真一



新年あけましておめでとうございませう。市民の皆さまには、輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政の発展と議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年、自然災害が猛威をふるい、全国各地に大きな爪痕を残しました。今後の市民の皆さま

まの安心、安全な暮らしの確保を見据えた防災、並びに減災対策の強化と防災時の迅速かつ適切な防災活動の展開に向けた環境整備の重要性を再認識することとなりました。

そして、昨年から整備を進めておりました、洲本市立なのほなこども園の開園を目前に控え、本施設が子育て支援施策の一層の充実に寄与するものと大きな期待が寄せられております。

私ども市議会と致しましても、決意も新たに皆さまの負託と信頼に応え、魅力あるまちづくりの実現に全力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さま方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

3月定例会市議会の予定

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 2月22日(金) 常任委員長会 | 3月13日(水) 予算審査特別委員会 |
| 2月26日(火) 議会運営委員会 | 3月14日(木) 予算審査特別委員会 |
| 議会報編集特別委員会 | 3月15日(金) 常任委員会 |
| 3月1日(金) 本会議(第1日) | 3月18日(月) 常任委員会 |
| 3月7日(木) 本会議(第2日) | 3月19日(火) 常任委員会 |
| 3月8日(金) 本会議(第3日) | 3月20日(水) 予備日 |
| 3月11日(月) 本会議(第4日) | 3月22日(金) 本会議(第5日) |
| 3月12日(火) 予算審査特別委員会 | 3月25日(月) 本会議(第6日) |



洲本市議会の本会議は、簡単な手続きでだれでも傍聴することができます。

希望される方は、本会議当日に市役所6階の傍聴受付で傍聴券の交付を受けて下さい。(傍聴券の交付には、本人の住所・氏名の記入が必要です)傍聴券は、先着順にお渡ししています。また、各委員会も傍聴することができます。その際の手続きや傍聴席数については、議会事務局にお問い合わせ下さい。傍聴の際は、洲本市議会傍聴規則で必要なことを定めていますのでご覧下さい。

編集後記

◆新年、明けましておめでとうございませう。昨年、島根県西部地震、大阪府北部地震、北海道胆振北部地震、台風の度重なる襲来、直撃、記録的猛暑など全国で自然災害が多発。例年になく規模の災害が日本各地で人々の生活を脅かしました。本年は新元号となりました。災害が無いことを願ってやみません。

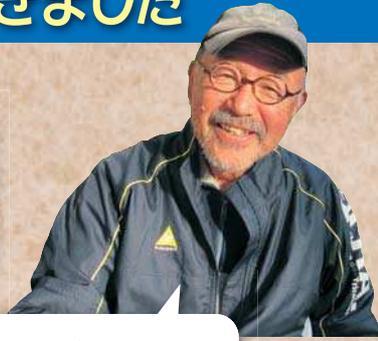
◆東では東京オリンピック・パラリンピック。西では大阪万国博覧会の開催が決定しました。地域活性化を期待したいものです。◆「みんなのぞかい」すもと市議会だよりも今回で発行50号となります。より一層、地域の現場の声を反映し、市民の皆さまに親しんでいただける紙面作りに努めてまいります。今後とも、ご感想、ご意見など多数お寄せくださいますようお願いいたします。

(先田)

西田さん



- ①議員の活動の様子がよくわかります。
- ②障害福祉サービスを充実してほしい。



中川さん

- ①議会で審議していることがわかります。
- ②具体的な問題をわかりやすく話してほしい。

- ①もう少しイラストや図を取り入れたり、文字を大きくすると見やすくなると思う。

小松さん



方城さん



- ②ネコ・カラス等が散らかすので、ごみの集積所を作してほしい。

- ①住んでいる街の内容をあまり知らなかったので今後は読んでいきたい。

原さん



インタビューの内容

- ①市議会だよりの感想は？
- ②市議会への要望はありませんか。

- ①興味や関心のあることはよく読んでいます。
- ②社会インフラ維持のため財政改革の推進



木戸さん

- ①もう少し見やすく。カラーにすれば見やすい。
- ②地域活性化

喜田さん



- ②地域の情報や問題をもう少し取り上げて欲しい。

太田さん



中尾さん



- ①写真やイラストを増やしたらよい。
- ②住みよいまちづくり

- ①市の今後などに関心を持って読んでいます。

林さん



空山さん

- ②市議会で開催イベントを主催し、若い世代に政治への関心を持ってもらえるようになればいい。

別府さん



- ②提案した事や課題等についての経過や結果が知りたい。



洲本市議会だよりの発行が50号を迎えました。50号を記念して市民の皆さんに、市議会だよりを読んだご感想や、市議会についての要望などをお聞きました。

インタビューへのご協力ありがとうございました。